

《Japan Tariff Association》

関 税 メールプレス

(No. 776) 2025. 7. 22 発行元：日本関税協会 長崎支部
TEL:095-825-0557 Fax:095-825-1748 <https://www.kanzei.or.jp/nagasaki/>

2025年度定時支部総会等を開催しました

7月15日(火)、長崎市の「サンプリエール」で2025年度定時幹事会・支部総会・講演会が開催されました。

定時幹事会では、2024年度事業報告・決算報告及び2025年度事業計画・予算案等についての審議が行われました。



〔定時幹事会での審議の様子〕

引き続き開催された定時総会では、本部から木村理事長の出席のもと、各地区から147名の会員の皆様にご出席いただきました。

冒頭、森支部長から、「米国による高関税率施策の影響もあり、外国貿易市場における為替相場の変動も激しくなっている。経済活動や国民生活へ少なからず影響を与える国際的な動きに対し、関係者をはじめ国民の関心は高く、関税協会が果たす役割は益々高くなっている。」旨の挨拶がありました。その後の講演会は、長崎経済研究所 主任研究員 杉本 士郎氏を講師にお迎えし、「端島（軍艦島）観光15年」と題して講演をいただきました。



〔森支部長の開催挨拶〕

長崎港沖合の小さな岩礁に露出していた石炭の採掘から始まり、海底炭鉱として繁栄と共に近代的・高密度な都市へと変貌、その後の閉山で一転廃墟と化した端島（軍艦島）の歴史と、近年の世界文化遺産登録により再び脚光を浴びることとなった現在の姿について、貴重な資料を基に解り易く解説をしていただきました。



〔木村理事長 挨拶〕

引き続き行われた懇談会は、7月人事異動後、着任早々の長崎税関幹部の方々にもご出席いただき、酒井 長崎税関長のご挨拶で始まりました。終始和やかな雰囲気の中、会員相互の懇親が深められ、三角海運(株)代表取締役社長 分造一義氏による中締めで盛会のうちに幕を閉じました。



〔杉本講師 講演会〕



〔酒井税関長 乾杯ご挨拶〕



〔分造 本部理事 中締めご挨拶〕